

山口県立大学大学院「文化コーディネート論」公開シンポジウム
ー 祝 明治維新 150 年記念イベント ー
2017 年度第 4 回山口国際文化化学研究会

英雲荘を活かす！ 英雲荘に活かされる！

シンポジウム

日時 **7/24(月)**

開場 **17:30** 開演 **18:00**

会場 英雲荘(三田尻御茶屋)大観楼棟

〒747-0819 山口県防府市お茶屋町10-21

Tel:0835-23-7276

入場無料

コーディネーター: 水谷 由美子 (山口県立大学大学院国際文化化学研究科教授)

パネラー: 井生 文隆 (山口県立大学名誉教授)

大東和 武司 (関東学院大学経営学部教授・広島市立大学名誉教授)

岡田 実 (山口県立美術館長)

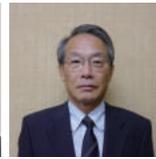
重見 武男 (山口ケーブルビジョン株式会社 顧問)



井生 文隆



大東和 武司



岡田 実



重見 武男

研究創作発表: 文化コーディネート論 受講生

関連イベント ～塩田迫る三田尻御茶屋にて、防府市の今昔を眺める茶会～

展覧会 日時 **7/8(土) 13:00-16:30**
7/9(日) 9:30-16:30

作品展示 大井 正則(陶芸家)
大井 美智子(陶芸家)

茶会 日時 **7/9(日)**
13:00～ 14:00～

※各回先着15名まで、茶菓子・抹茶無料

会場 英雲荘構内 花月楼

※英雲荘本棟の拝観を希望される場合は、別途観覧料がかかります。(大人 300 円・小中学生 150 円)

主催:山口県立大学大学院国際文化化学研究科

協力:防府市 英雲荘(国指定史跡萩往還関連遺跡三田尻御茶屋)

山口県立大学大学院国際文化学研究科は文化を活かした地域活性化を目標に掲げ「文化コーディネーター論」にて、ゲスト講師と大学の教員および院生が地域公開のシンポジウムを開催しています。

平成二九年度の本講では明治維新百五十周年プレイベントとして、国の史跡であり、山口県防府市の重要文化財でもある「英雲荘」に着目し、調査・研究・企画による地域活性化を目指します。

関係者の方々のお力添えのもと、「英雲荘」をシンポジウムの会場とし、ゲスト講師の提言とともに、大学院生はかつて「英雲荘」から見えた防府の景色であった「塩田」に注目し、「英雲荘」と「塩」をテーマとしたプロジェクトの実践を行います。

防府と塩と萩往還と

大学院生調査班（耿寒雪・古宮弥生・中村光里・松浦奈津子）

江戸時代中期から昭和30年代まで約260年間にわたって、全国有数の塩の産地として栄えた防府。東北地方では塩のことを「みたじり」と呼んでいたとも伝えられている。その三田尻から城下町・萩までを結ぶ、全長約53キロの「歴史の道」、萩往還。「塩」と「萩往還」をパネルでひも解く。

地域 × デザインへのアプローチ

重見 武男 氏

まちづくりには創造的思考によるデザイン力が欠かせない。そこで、特定の空間をケーススタディとし、空間形成におけるデザインの役割についてワークショップ（構想を模型や図面により空間にまとめあげ表現する作業）を通して自主的に考える機会を設けた。その結果を紹介する。

文化とデザイン

井生 文隆 氏

人々の暮らしの中で、文化の一翼を担うデザインは、新しい在り方の構築が問われている。「ヒト」と「モノ」と「環境」の関わり合いを、「価値の向上と持続性」を目的に、どう具現化するのかが重要なテーマとなる。

英雲荘と塩と作品

大学院生制作班（栗栖尚太郎・高橋潤一郎・十亀陽太）

かつて江戸時代から明治にかけて、三田尻にて作られていた塩。英雲荘より見られた塩田を懐古し、防府の海水を使い現代の家庭でも出来る塩精製法の提案を行う。また、英雲荘とその時代背景より着想を得た作品の展示を行う。

地域の伝統文化における企業の役割

大東和 武司 氏

地域にもグローバリゼーションなど国際的な影響・変化の波は否応なしにやってくる。それは、地域文化の形成における異なる文化の受容、そして創造という側面とつながっている。地域の伝統文化を継承しながら、どのように製品等の革新につなげてきたのかについて、企業レベルを中心として、事例を挙げながら考察を進めていく。

地域文化行政と地域活性化

岡田 実氏

地域文化行政と地域活性化のかかわりについて、公共文化施設、公共文化イベントの両面から考える。公共文化施設は、秋吉台国際芸術村などを、また、公共文化イベントは、国民文化祭などを具体的事例として取り上げる。

展示作家紹介



大井 正則 氏

防府市佐野は、古くから、佐野土を用いた焼き物、佐野焼の産地として、大戦前後まで、各方面に出荷するなど、大いに栄えました。

私の生家は、その中で長い間、大道土を使った萩焼の茶陶も制作し、玉祖窯元として、今日まで続いています。私自身は、大学で学んだ技法の絵付けなどを中心に、その他の新しい作風を求めて、制作しています。



大井 美智子 氏

自然豊かな山里の暮らしの中で感ずる情感を創作の源としています。大道土の柔らかな質感や特性の中に、学んできた技法を生かして表現していきたいと思い、制作しています。

お問い合わせ

山口県立大学大学院国際文化学研究科 担当：水谷由美子
〒753-8502 山口県山口市桜島 3-2-1
Tel & Fax : 083-928-3423
E-mail : myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp

アクセスマップ

英雲荘
〒747-0819
山口県防府市お茶屋町10-21
Tel:0835-23-7276

